のり養殖通報第 11 報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議　　平成 25 年 3 月 22 日発行

[気象]今後は寒暖差大

○ 3 月上中旬の日照時間は 7.7 時間/日（平年 6.5 時間），降水量は 14.5 ㎜（平年 60 ㎜）で，平年より晴天の日が多い（新富津気象盤）。気温は 3 月以降平年を大きく上回る記録的な高気温が続いている（図 1）。

○ 気象予報によると，今後は寒暖の差が激しく，周期的に低気圧が通過し 4 月に入ると一時的に寒気が強まると予報されている。

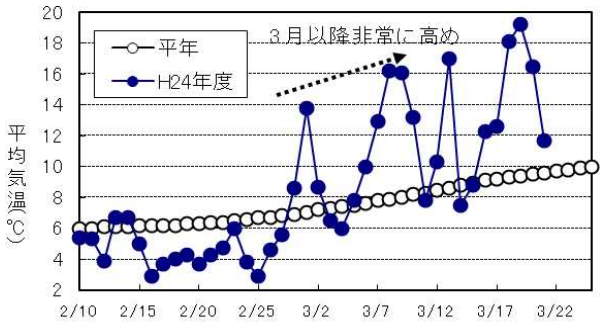

図1　日平均気温　平年との比較（千葉測候所）

[海況]外洋水波及で内房の栄養塩激減。内湾もリンが減少

○ 高気温が続き水温は急上昇した。特に富津岬以南の漁場には強い南風の連吹で外洋水が波及し断続的に 16℃前後の水温帯が観測されている（図 2）。

○ 3 月 19～21 日に実施した東京湾の観測結果では，表層水温は内湾で 11～14℃，内房では 12～16℃台で半月前より 2～5℃上昇。植物プランクトンは湾奥部を除いて量的には多くないが，ユーカンピア，タラシオシラ，キートケロス等が見られている。栄養塩は富津岬以南で外洋水波及によって窒素・リンともに激減。内湾は，窒素は十分に含まれているがリンは色落ちが心配されるレベルまで減少（表 1）。

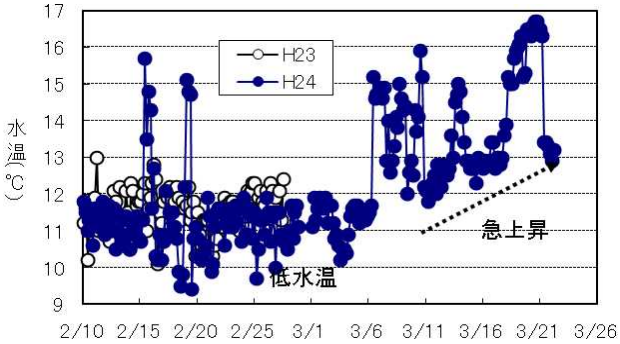

図2　昨年と今年の水温経過（新富津観測ブイ）

[今後の見込みと留意点]　栄養塩回復に期待

○ 外洋水が強く波及している高水温高塩分の場所で栄養塩が激減しているが風向・風速の変化で波及が終息すれば栄養塩は短期間で回復する可能性が十分にある。

○ 湾奥部を除いて植物プランクトンの発生量は多くないが，最も色落ち被害をもたらすユーカンピアが優占してきた。高気温で晴天の日が続くと本種が増殖し栄養塩が枯渇する懸念がある。

○ 周期的な低気圧通過と寒気の南下による栄養塩回復に期待し，当面は計画的な生産を継続してください。

表 1　水質観測結果（内湾 3/19，内房 3/21）

	水温	塩分	pH	透明度	窒素	リン
船橋	13.0	31.1	8.5	1.8	541	7
盤洲 B ブイ	12.7	32.3	8.2	4.3	375	3
盤洲 A ブイ	14.8	33.6	8.1	4.4	323	6
富津ベタ	12.3	33.3	8.0	4.8	303	10
2 海ほ下	12.6	32.7	8.1	7.5	283	11
下洲ベタ	16.3	34.2	8.1	3.3	8	3
大貫ベタ	16.4	34.3	8.0	3.6	7	4
湊ベタ	16.1	34.3	8.0	5.2	19	4

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードできます。
次回は 4 月 9 日頃発行します。